

Pioneer

最先端を走る同窓生に今を語って頂きます

井本 正哉 先生 (慶應義塾大学・名誉教授 / 順天堂大学大学院医学研究科・特任教授)

山口大学農学部農芸化学科 農産製造学講座 1978年卒業

山口大学大学院農学研究科農芸化学専攻 農産製造学講座 1980年修士課程修了

～アカデミア発疾患治療薬の開発を目指して～

浪人生だった夏、友人に誘われて初めて山口・萩を旅行しました。その街並みが気に入ったので、軽い気持ちで二期校の志望校を山口大学にしました。浪人の夏に旅行などしていたのが祟ったのか、一期校に落ちて山口大学に入学することとなりました。大阪で育った私には山口には一人も知り合いがおらず、親はもちろん誰の目を気にすることもなく、ろくに講義にも出ないで実に気ままな学生生活を送っていました。

しかし、そんな生活がいつまでも続くはずはなく、3年生の冬、卒論の研究室選びの時期を迎えました。農芸化学科の先輩の「自分はこれまでずっとチャランポランだったから、一度くらい厳しい環境に身を置こうと思って敢えて厳しい研究室を選んだ」という話に妙に共感し、当時一番厳しいと評判だった農産製造学研究室(畑中顯和教授、梶原忠彦助教授、関谷次郎助手)を選びました。研究テーマは植物の緑の香りの合成酵素に関する生化学研究でした。それまでの不勉強を呪いつつ、しかし、実験を重ねるにつれ次第に「自分で色々実験してみて、まだ誰も知らない結果を得る」という研究の楽しさに引き込まれるようになりました。修士課程を修了してキリンビール株式会社の研究所に就職しましたが、そこで与えられたテーマが大麦の酵素に関する生化学研究で、学生時代に厳しい研究室で学んだ経験が大いに役に立ちました。

入社して2年が経とうとした頃、会社が医薬品部門へ進出することになり、私は創薬研究を学ぶために国内留学という形で財団法人・微生物化学研究所(微化研)に派遣されました。当時、微化研は微生物が生産する制がん剤研究のメッカで、多くの製薬企業や食品企業から派遣された研究員が新薬開発を目指して熱心に研究していました。そろそろ食品の研究にも飽きはじめていた私は、医薬品の研究ができることに胸を躍らせ、日本各地から集められた放線菌の培養液から癌細胞を殺す化合物を見つける研究をはじめました。慣れない天然物化学研究は最初こそ楽しかったのですが、次第に同じようなことの繰り返しで、「もうちょっとかっこええ」研究をしたいと思うようになりました。そんなときに目に止まったのが癌遺伝子です。癌遺伝子は文字通り癌を引き起こす遺伝子ですが、その頃になってようやく癌遺伝子がコードするチロシンキナーゼという酵素が癌化の原因かもしれないと考えられるようになりました。ならばチロシンキナーゼの阻害剤を見つければ新しい抗癌剤になると思い、「前例がないからダメだ」という周囲を説得してこの研究に取り組みました。周囲を説得できたのは学生時代に学んだ生化学研究の経験に後押しされたからです。

1年間の苦闘の末、世界で初めてのチロシンキナーゼ阻害剤を発見することができました。この研究は高く評価され、東大で博士号を取り、農芸化学会の奨励賞を受賞し、慶應義塾大学理工学部の助手になることができました。こうして、その後もアカデミアの立場から様々な癌細胞の特性を標的にして抗癌剤を微生物から探索し、さらには分子生物学やバイオインフォマティクス的手法を取り入れながら、見つけた化合物による癌の悪性化制御機構の解析研究に取り組みできました。残念ながら未だ治療薬として開発できた化合物はありませんが、150報を超える原著論文として成果を発表することができ、2018年には日本農芸化学会功績賞を受賞しました。推薦して下さったのは山口大学の恩師・畑中顯和先生でした。

10年ほど前からは研究の対象疾患にパーキンソン疾患も加えました。パーキンソン疾患も高齢化に伴い今後患者数が増えると思われ、予想される神経変性疾患で、いまだ根本的治療薬が存在しません。今年の3月に慶應義塾大学を定年退職しましたが、4月からは順天堂大学で特任教授としてパーキンソン疾患の創薬研究を継続しており、こんどこそ、多くの患者さんを救える治療薬の開発にも貢献したいと思っています。

思い起こせば、私の恵まれた研究者人生、全てはあの浪人の夏に山口へ旅行に行ったことがはじまりでした。



慶應義塾大学での最終講義(2020年1月16日)

久保田 徹 氏 農芸化学科2回生

1972年（昭和47年）3月に山口大学を卒業し、4月に日本コカ・コーラ株式会社に入社しました。日本コカ・コーラ社では、清涼飲料水（炭酸飲料、果実飲料、コーヒー飲料など）の製造管理、原料サプライヤーの管理、コーヒー焙煎工場の建設プロジェクトおよび焙煎工場の製造立上げ、ミネラルウォーターの源泉調査、原料メーカーおよびボトル・パッカーの工場監査に従事しました。この間に、製造管理を徹底すべく、国内のほとんどの原料果汁工場並びに主要な清涼飲料製造工場を訪問、指導し、人的交流を図りました。

2000年（平成12年）に高砂香料工業株式会社に移籍し、原料サプライヤーおよび容器サプライヤーへの工場監査を担当するとともに、得意先からの自社・関連会社の工場監査への対応もしました〔ISO 9001主任審査員の資格を有していたのが良かったのかもしれませんが〕。また、食品・食品添加物工場の標準化（製造環境衛生改善、5S活動）の活動を推進して、自社及び関連会社の工場管理のレベルアップを図りました。

1972年から2014年までに製造管理、工場監査、技術指導のために訪問した国内外の食品関連の製造工場/事業所は、約240箇所となりました。この間に、海外では中国（上海、寧波、厦門、広州）、フィリピン（マニラ）、マレーシア（ジョホールバル）、シンガポール（シンガポール）、タイ（バンコク）、ニュージーランド（オークランド、ネーピア、ネルソン）、オーストラリア（シドニー）、UAE（ドバイ）、アメリカ（ジョージア州、ミシガン州、フロリダ州、ワシントン州、カリフォルニア州）、ベリーズ（ベリーズシティ）、ブラジル（サンパウロ、コリーナ、ベベドロー、アララクアラ、ロンドリーナ、コーネルオ プロコピオ、サントス）、台湾（高雄、台中）を訪問しました。また、国内では、ほとんどの都道府県を訪れる機会にめぐまれました。

2014年（平成26年）6月に高砂香料を退社しました（サラリーマンの卒業です）。ちょうどその頃に、経営コンサルタントの会社とNPO法人から仕事のお誘いの話があり、契約をしました。契約後に東京都へ『個人事業の申請』をしました。店の看板に相当する屋号は『Food Hygiene Office』としました。仕事の内容は食品衛生に関するもので、食品衛生研修会の準備や講演会の講師、食品会社へのコンサルタントや指導です。報酬は少ないですが、これまでお世話になった社会や食品業界へのお礼の気持ちで、ボランティアの精神でやっております。そのほかに地元の稲城市で、東京2020オリンピックの『聖火リレー』と『自転車ロードレース』のサポーターをする予定（延期の状態）になっています。

サラリーマンの卒業後は、週に3日程度は仕事や講演会の原稿づくりをしています。残りの日々は、スポーツクラブでの運動やウォーキング、ゴルフ友とのゴルフ、稲城市の囲碁クラブでの対局、友人との会食、自宅での雑用などで過ごすという生活を続けてきました。概ね順調に生活してきましたが、2年前にガンが見つかり、不覚にも1ヶ月の入院生活とその後のリハビリを余儀なくせざるを得なくなりました。飲食と行動の自由が利かなくなり、健康の有り難さを反省しながら思い出しました。

娘家族がオーストラリアのパースに住んでいますので、孫に会うために3年前と昨年9月にパースに行きました。パースはオーストラリアの南西部に位置しており、地中海性気候と言われていますが、温暖化の影響でしょうか亜熱帯に近い気候です。写真は、上流にワイナリーが多数あるスワンリバーの辺から市内を眺めたものです。それとパブリックゴルフ場での写真です。パースの郊外にはパブリックのゴルフ場が点在しております。ゴルフのプレー費（18ホール）は、パブリックのコースでは¥2,500から¥3,000程度で、市民が気楽にプレーを楽しんでいました。

話を今に戻しますと、私はガン手術を受けてからは体力と免疫力が低下していますので、新型コロナウイルスは脅威です。互いに感染防止に注意を払い、収束するのを待ちましょう。この原稿が皆様の手元に届くころには、新型コロナの感染が収束しているといいのですが。



母校便り：共同獣医学部 獣医病理学教室

●**在籍者** 教員3名（森本、坂井、櫻井） 技術補佐員（清水）

学部生7名（V6;青木、今泉、山田、武良 V5;一色、山川、山崎 V4;笹本、長谷川、松井）

全員で病理解剖と研究の日々を送っています。特に欧州獣医学教育評価機関協会（EAEVE）認証のために病理解剖数が激増しており、学部学生は授業実習と剖検とで忙しい日々を送っています。

●**進路** 昨年度ご卒業の平田さんは京都府教員（卒論課題：犬の腫瘍におけるUSP15の発現とそのHGシグナル伝達経路における役割の解析）、光井君（卒論課題：トリメチルチン投与モデルの海馬の再生におけるプレドニゾロン投与の効果）は兵庫県で小動物臨床、山本君（卒論課題：山口県で発生しているブロイラーの浅胸筋変性症に関する研究）は熊本県のESAC社（養鶏のコンサルティング）にそれぞれ就職されました。



2019年3月卒業生



森本教授の還暦お祝い

山大OB・OG会(東京)便り

C23, 1993年卒 中嶋久士さん

吉田さんより同窓生をネタにした明るいニュースで記事を書いてくださいとお願いされたので、頑張ります（笑）。新政権で山際君が大臣就任していれば…と思いました。とはいうものの、国会の予算委員会で質問に立ち（<https://www.youtube.com/watch?v=LdTWj07ZVcQ>）、自民党の総務会にて決まった主な役員人事で政調会長代理として名前が載ったり

（<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ064382320Z20C20A9PP8000/>）とこの一年もご活躍されるものと思います。先輩、同期、後輩の皆様と同じように、農学部の売店でカップラーメンを買い、自販機でジュースを買い、ベンチで駄弁っていた仲間が総理大臣をはじめとする国務大臣とNNKの全国放送で質疑をしている姿は学生時代を知っている者としては誇らしく見えました。

さて、現衆議院議員の任期は2021年10月までです。1年以内に必ず選挙があります。彼の選挙区は川崎市高津区、宮前区を中心とした神奈川18区ですので、応援よろしくお願い致します。

最近ベンチャー企業に転職し、仕事柄？会長の代理として政治資金パーティに参加する機会がございます。2世、3世議員の方の場合は先輩議員だけでなく大手企業の重役の方も発起人を務められ、先代からの支援者も多くいらっしゃるようです。一方、山際は公募スタートであり、本人と秘書の働きで、毎年参加者が増えておりますが、同窓生の皆様にもご協力いただければと存じます。

昨年ご報告致しましたが、同窓生が中心となって山際大志郎の後援会を立ち上げました。学部単位での同窓会の集まりはございますが、学部を問わず集まれる機会はそんなにございませぬ。こちらにも是非ご参加いただけましたら幸甚でございます。ご賛同いただける方は、yamadai.yamagiwa@gmail.comまでご連絡ください。大臣になる前にご参加いただき、大臣就任を一緒にお祝い致しましょう。

こんなご時世ですが、元気に過ごして、次回同窓会ではたくさん盛り上がりましょう。



会員からの投稿

獣医学科獣医外科学教室名誉教授の中間實徳先生

(元・日本獣医師会理事、元・中国地区獣医師会連合会長、元・山口県獣医師会長)

昨年8月1日、愛玩動物看護師法制定記念祝賀会が東京・明治記念会館で開催され、当日来賓として参加された衆議院議員の山際大志郎氏と写真を撮りましたので、遅ればせながら送ります。山際氏は私が山大在職中に教えた学生の1人です。

2018年(平成30年)11月30日にパレスホテル・東京で開催の「公益社団法人・日本獣医師会創立70周年記念」で、山口大学獣医学科第27回(昭和54年3月)卒業の細井戸大成氏(大阪市獣医師会)が近畿地区で、元・公益社団法人・山口県獣医師会長の中間實徳が中国地区から、農林大臣感謝状を授与されました。



山際氏と中間先生



左から佐藤山口大学共同獣医学部長・
中間元山口県獣医師会長・
Dr.Chaing世界獣医師会長・
山野山口県獣医師会長



農林水産大臣感謝状

バトンコーナー ~私の近況~

V53, 2007年卒 平川由佳(旧姓:佐川)さん
(事務局 ニュースレター編集委員会)

同窓生の皆さま、こんにちは。私は2007年3月に農学部獣医学科を卒業し、半年ほど小動物臨床に携ったのち、開発業務受託機関と呼ばれる医薬品開発に関わる企業に転職しました。獣医師特有の仕事ではないですが、新薬を待つ患者さんを想うとやり甲斐と使命感を感じ、13年勤続しています。業務を通じ、少しでも新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発に貢献し、一日でも早く皆さんの手に届けばこれほど嬉しいことはありません。

さて、このコロナ騒ぎによって、初めて気が付いたこと、また改めて考えさせられたり感謝したりしたことは多いのではないのでしょうか。当たり前のように通ってきた保育園や学童保育、働き続ける店員の皆さん、普段よりも業務が増えた宅配業者の方々等に、私は感謝の気持ちでいっぱいです。感染のリスクにさらされながらも仕事を続ける医療従事者の方々、ご家族の方も含めどのような思いで過ごされているのだろうと日々考えさせられました。また、過酷な状況のなか身体を壊された方、コロナ禍により職を失われた方々についても、考えない日はありません。困難な日々の中で何かを考えさせられたり気づきがあったりすることは、本当に大切なことです。「平和ボケ」というのは言い過ぎかもしれませんが、日々自分たちが受けている恩恵を当たり前のことと思って過ごしていると、それを突然失ったときにとっても困惑するものです。だから辛い「今」から、私たちは大事なことを学んでいると思うのです。コロナが落ち着いたら、皆さまは何をしたいと思いますか?今は少し遠くの未来を見据え、この禍の年をできる限り心穏やかに過ごしたです。

これからこのバトンコーナーを続けていきますので、ぜひ楽しんでください。このコーナーは、近況や感じたことなどを気軽に投稿できるコーナーで、前に投稿した方が次の方に繋がります。内容は短く簡単なもの(300字程度)で結構ですので、番が回ってきた際にはどうぞ筆をとっていただくと幸いです。



在宅ワークの様子

ホームページ開設のお知らせ

<https://yamaguchiagrivet.wixsite.com/tokyo>

この度、山口大学農学部・獣医学部同窓会東京支部のホームページを開設しました。こちらからメールアドレスなどをご登録いただければ、各種ご案内をメールにてお送り致します。また、今後様々な情報をアップしていく予定ですので、是非、会員登録の上でご覧ください。



会長 深町 輝康(V16,S43卒) : smile-vet@chic.ocn.ne.jp
事務局 桑野 昭(V21,S48卒) : kuwa5ayt@green.ocn.ne.jp
久保田 徹(C2,S47卒) : tkubota39@m7.gyao.ne.jp

吉田 恵子(V48,H14卒) : keicho@mth.biglobe.ne.jp
平川 由佳(V53,H19卒) : yspiopiyo@yahoo.co.jp

メール配信にご協力をお願いします。皆様のメールアドレスを事務局までお知らせください。

BCC配信ですのでアドレスは公開されません。

編集後記

今回も同窓生の方々からバリエーション豊かな記事をお寄せいただき感謝申し上げます。この会報で少しでも皆様に笑顔をお届けできれば嬉しいです。

笑顔は免疫力をアップするとされています。大変な世の中ですが、明るい気持ちでこの冬を乗り越えましょう! 事務局: 吉田